

# 筆文字風の双喜

倍率100%／実際のサイズで印刷。用紙に合わせた拡大縮小はしません



黒い部分を残し、白い部分を切り抜きます。

紙を開いたまま切る。折る前・切る前に、2～3ページの手順をご覧ください。

外側ははさみで。閉じた穴は大人がカッターとマットを使います。

すべての図案を実際の紙で試したものではありません。まずは試し切りを。



50 mmの確認線：印刷後に定規で測ってください

# 筆文字風の双喜

紙を開いたまま切る / 1-3

A4: 210 x 297 mm



## 1. まずは一枚の紙から

まだ切らずに用意する

A4の紙を一枚用意し、図案の向きと位置を確かめます。まわりの紙は細かい部分を支えてくれるので、まだ切り落としません。



## 2. 図案全体を写す

紙を開いたまま、向きを合わせる

弱粘着のテープで図案を留めるか、鉛筆で紙の中央に薄く写します。灰色の線は位置の目安です。紙は折らず、外まわりも残しておきます。



## 3. 内側の細部を切り抜く

外側の紙を支えにする

小さな穴や細部から始め、赤い破線で囲まれた白い部分を抜きます。カッターは大人がマットの上で使い、取り除く部分の内側から刃を入れます。つなぎ目の紙は残してください。

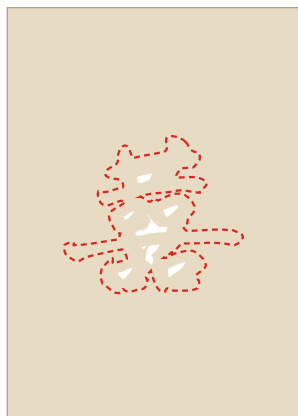
赤い破線：今回切る線 青：折り目、切らない 灰：下絵の目安

薄茶色は残った紙、白い穴は切り抜いた部分。手順図は原寸ではありません。

原寸の図案は1ページ目にあります。細いつなぎ目は先に試し切りを。

# 筆文字風の双喜

紙を開いたまま切る / 4-5



## 4. 最後に外周を切り離す

外側の赤い線をたどる

紙の端から余白を通して輪郭に近づき、外側の赤い線を切ります。切り終えた細い部分は反対の手で支え、引っばらないようにしましょう。

## 5. そっと開いて仕上げる

完成の見本。新しい切り線はありません

折った作品はゆっくり開き、開いて切った作品は周囲の紙からそっと外します。ついている小さな紙くずだけを取り、つなぎ目を残して、きれいな紙にはさんで平らにします。



赤い破線：今回切る線 青：折り目、切らない 灰：下絵の目安

薄茶色は残った紙、白い穴は切り抜いた部分。手順図は原寸ではありません。

原寸の図案は1ページ目にあります。細いつなぎ目は先に試し切りを。